



令和5年産も「需要に応じた米生産」と「水田フル活用」に取り組みましょう!

◎「需要に応じた米生産」



富山県の令和5年産米の主食用米の生産目標

- ①全国の生産量の目安(前年平年作同)、②富山県産米の需要量見通しが堅調であることを考慮し、県段階の生産目標を

171,211トン、面積換算で31,300ha(前年実績同)

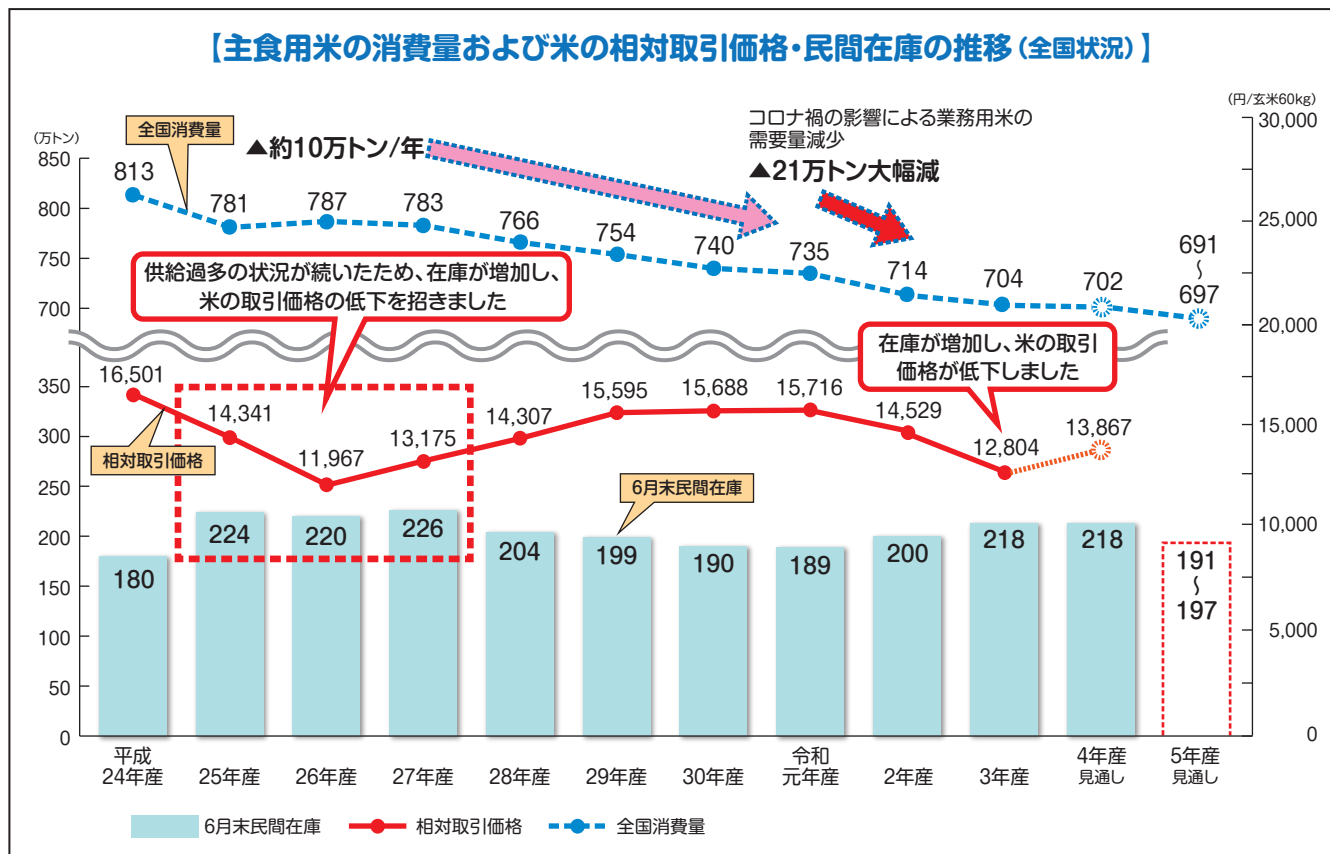
として設定しました。

本県では、これまで生産目標に沿った作付けに取り組んできており、引き続き、県全域で継続して取り組みましょう。



全国の米づくりをとりまく状況

全国の主食用米の需給環境はやや改善傾向にあるものの、コロナ禍による影響の長期化への懸念に加え、人口減少や食の多様化などにより、毎年約10万トンの需要量減少が続いており、引き続き「需要に応じた米生産」が必要です。



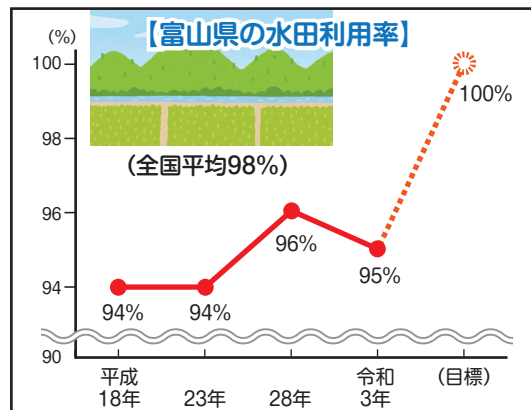
生産者、JA、行政等が一体となって「需要に応じた米生産」に取り組みましょう

◎「水田フル活用」による生産性・収益性の向上に取り組みましょう

- ①「米の生産目標」や、地域の「作物別の生産方針」を参考に、作付計画の検討や土地利用の調整を実施しましょう。
- ②「経営所得安定対策等」の国の制度も活用し、水田のフル活用に取り組みましょう。
- ③調整水田や大麦の収穫後の遊休農地等を積極的に有効活用しましょう。

重点品目

作物	令和4年 → 令和5年目標	品目・用途等
大豆	4,490ha → 4,600ha	豆腐、煮豆用に高評価
園芸作物	4,050ha → 4,150ha	機械化が可能な、たまねぎ、にんじん、キャベツ、さといも等による複合化
加工用米	1,170ha → 1,250ha	おかきなどの米菓、冷凍米飯など
米粉用米	250ha → 300ha	小麦粉の代替として、菓子やパンなど



水田フル活用のための支援制度なども活用しましょう！

畑作物産地形成促進事業および
コメ新市場開拓等促進事業
(旧水田リノベーション事業)



麦・大豆生産技術向上事業および産地生産基盤
パワーアップ事業(麦・大豆機械導入対策)

- 実需者ニーズに対応するための低コスト生産等に取り組む場合に、取組面積に応じて支援

対象品目	助成単価
麦、大豆 高収益作物 (加工・業務用野菜等) 子実用とうもろこし	4万円/10a
新市場開拓用米 (輸出用米等)	4万円/10a
加工用米	3万円/10a
米粉用米 (パン・めん用の専用品種)	9万円/10a

- 作付の団地化や営農技術の導入等による生産体制の強化・効率化を支援

対象品目	麦・大豆
支援内容	<生産性向上の推進> 地域の話し合い、ほ場の簡易な改修・点検等の経費を支援(面積に応じた上限額の範囲で実費を定額支援)
	<営農技術等の導入> 生産性向上や需要に応じた生産に向けた栽培技術の導入、品種転換等を支援(定額:技術に応じて1万円/10a以内)
	<機械・施設の導入> 生産性向上に必要な機械・施設の導入を支援(1/2以内)



飼料用米への支援の見直しについて

国では、2年後(令和6年産)から、一般品種(てんたかく、てんこもり等)による飼料用米への支援単価水準を段階的に見直すこととしています。

生産条件や地域の実情を踏まえ、多収品種(やまだわら)への切替えの可能性や、加工用米・備蓄米への転換等、計画的な対応に向けて検討を進めましょう。



	令和5年産	令和6年産	令和7年産	令和8年産
一般品種 (てんたかく、てんこもり等)	数量に応じて 5.5~10.5万円/10a (標準単価:8.0万円/10a)	数量に応じて 5.5~9.5万円/10a (標準単価:7.5万円/10a)	数量に応じて 5.5~8.5万円/10a (標準単価:7.0万円/10a)	数量に応じて 5.5~7.5万円/10a (標準単価:6.5万円/10a)
多収品種 (やまだわら等)		数量に応じて 5.5~10.5万円/10a (標準単価:8.0万円/10a) ※変更無し		

※詳細は、お住まいの地域農業再生協議会(市町村・JA)へお問合せ下さい。